



# 『不思議の国のアリス』の世界に遊ぶ

『不思議の国のアリス』が出版されて2015年で150年。世界中で読み継がれている作品を、大人の視点から再発見する旅に出かけませんか。英文テキストをゆっくり読む醍醐味を味わい、ことばに隠されたルイス・キャロルの心を探ります。ことば遊びの仕組みをテニエルの挿絵を手がかりに解きほぐしながら、ヴィクトリア朝時代の文化の奥にあなたをいざないます。4月から始まる9ヵ月講座です。

- 講師 日本ルイス・キャロル協会会長 安井 泉
- 受講日 第2木曜日 13:00～15:00  
\* 8月は第1週、9月は第3週
- 受講料 9ヵ月(9回)分 22,500円+税
- 持ち物 筆記用具
- テキスト 2,000円程度(教室販売)  
ルイス・キャロル著『不思議の国のアリス』の  
初版(Alice's Adventures in Wonderland, 1865)のファクシミリ版



- 4月 9日 『地下の国のアリス』から『不思議の国のアリス』へ  
～ 献辞に秘められた誕生秘話。『地下の国のアリス』はいかに加筆修正されたか。
- 5月 14日 第1章「Down the Rabbit-Hole」  
～ 白ウサギと巣穴。ホールとはどんな場所? 「私を飲んで」とある瓶。  
キャロルがことばをいとおしんだ時間が詰まっている。
- 6月 11日 第2章「The Pool of Tears」と第3章「A Caucus Race and a Long Tale」  
～ Curiouser and curiouser!(へんこてりん)はどこが間違い?  
フランス語やラテン語の香りただよう筋運び。コーカスレースってどんなレース? お話して尾話しなの?
- 7月 9日 第4章「The Rabbit sends in a little Bill」と第5章「Advice from a Caterpillar」  
～ 会話すれ違いの犯人は何か。
- 8月 6日 第6章「Pig and Pepper」  
～ 秘密は頭顔にあり。赤ん坊がブタになる瞬間。チェシャネコの秘密。
- 9月 17日 第7章「A Mad Tea-Party」  
～ ますますすれ違う会話。答えのないなぞなぞ。三月ウサギや帽子屋はなぜきちがいなのか。
- 10月 8日 第8章「The Queen's Croquet-Ground」と第9章「The Mock Turtle's Story」  
～ なぜ白薔薇を赤く塗るのか。ニセタヌキ汁とニセダヌキ汁。ニセウミガメの姿の謎。ウミガメなのにリクガメとは。
- 11月 12日 第10章「The Lobster Quadrille」と第11章「Who Stole the Tarts?」  
～ べたべたする公爵夫人。教訓にならない教訓。なんでも固有名詞に。トランプのジャックはなぜネイブなの?  
上流階級の英語。帽子屋は片手にパンを持っているのはなぜ?
- 12月 10日 第12章「Alice's Evidence」  
～ アリスはどのように目覚めたのか。姉の夢。夢と現実の呼応。

詳細は右記フリーダイヤルまでお問い合わせください。

※内容・日程は変更になる場合がございますご了承ください。  
※講座により募集締切日が異なりますので、お問い合わせください。  
※お申し込みの人数によっては、開講中止となる場合もございます。予めご了承ください。

中日文化センターへ初めてご入会される方は、別途入会金(3,500円+税)が必要です。



名古屋・栄 中日文化センター

Culture & Communication 中日新聞

フリーダイヤル

0120-53-8164 10:00～19:00  
日曜日は17:00まで

〒460-0008 名古屋市中区栄4-1-1 中日ビル4F